

河辺地域

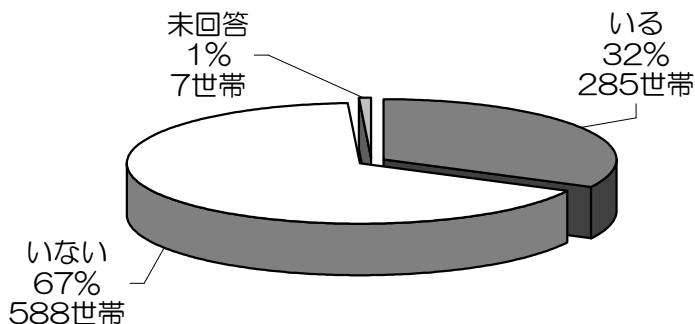
# マイタウン・バス 全戸アンケート調査結果

- 1 回答世帯数
- 2 期 間
- 3 集計結果

880 世帯 (回答率32%)  
平成22年7月1日～7月25日

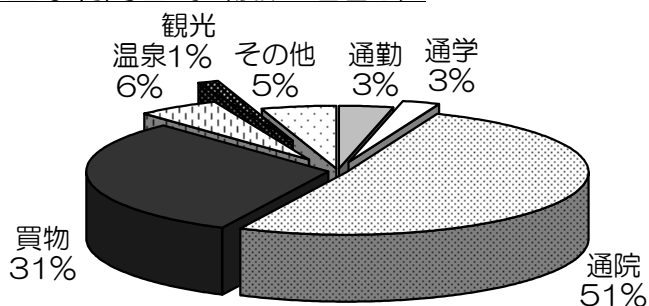
秋田市マイタウン・バス南部線  
河辺地域運行協議会  
秋田市交通政策室

## ① 家族の中でマイタウン・バスを利用している方がいる世帯数



マイタウン・バスを利用している世帯数は285世帯、32%となった。  
また、その人数は、412人となった。  
このことから、回答率を単純に地域人口でかけあわせるとマイタウンバスの利用者数は、約1,200人と予想される。

## ② 主な利用目的（複数回答含む）



主な利用目的	世帯数
通 勤	19
通 学	14
通 院	279
買 物	168
観 光	8
その他	27
未記入	1
計	516

※その他の目的としては、サークル活動、カルチャー、会合・会議、郵便局などがあつた。

通院が51%と最も多く、ついで買物への利用で31%となっている。

## ③ 利用目的別の主な目的地

(上位2位または回答世帯数が10世帯以上のもの。)

### /(1)通勤

- 1位 和田駅
- 2位 秋田駅前

### /(2)通学

- 1位 和田駅
- 2位 新都市

### /(3)通院

- 1位 秋田赤十字病院
- 2位 秋田駅付近の病院
- 3位 中通総合病院
- 4位 秋田大学病院
- 5位 旧秋田市内
- 6位 和田駅前
- 7位 岩見三内地域

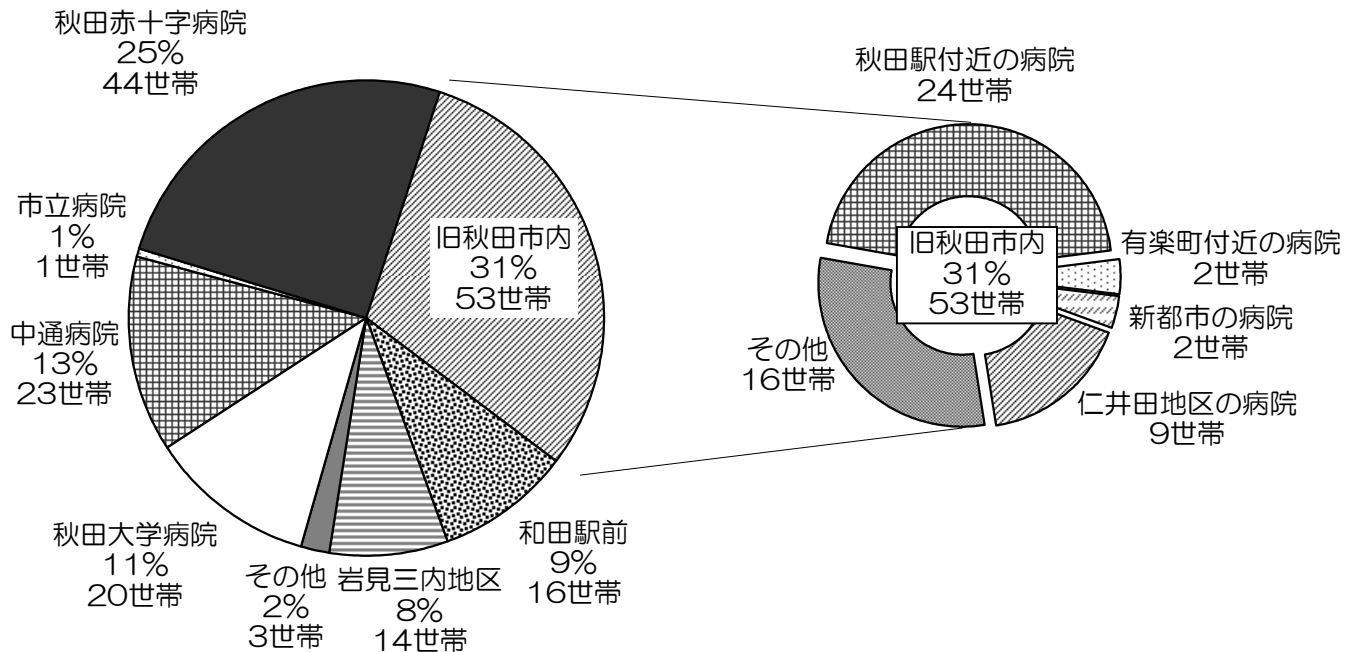
### /(4)買物

- 1位 新都市
- 2位 秋田駅

### /(5)温泉

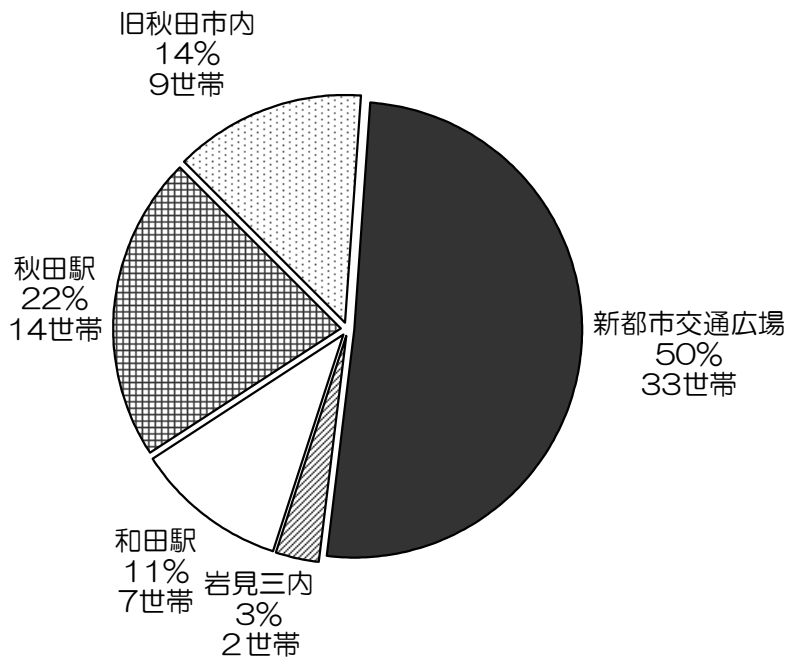
- 1位 ユフォーレ
- 1位 岩見温泉

a. 通院を利用目的にしている人の目的地の詳細 (未記入は除く。)

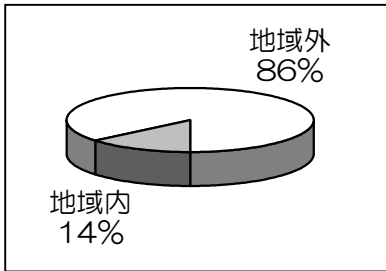


通院先を旧秋田市内および旧秋田市内の総合病院と答えた方が81%となった。  
また、病院別では、秋田赤十字病院が最も多く全体の25%となっている。

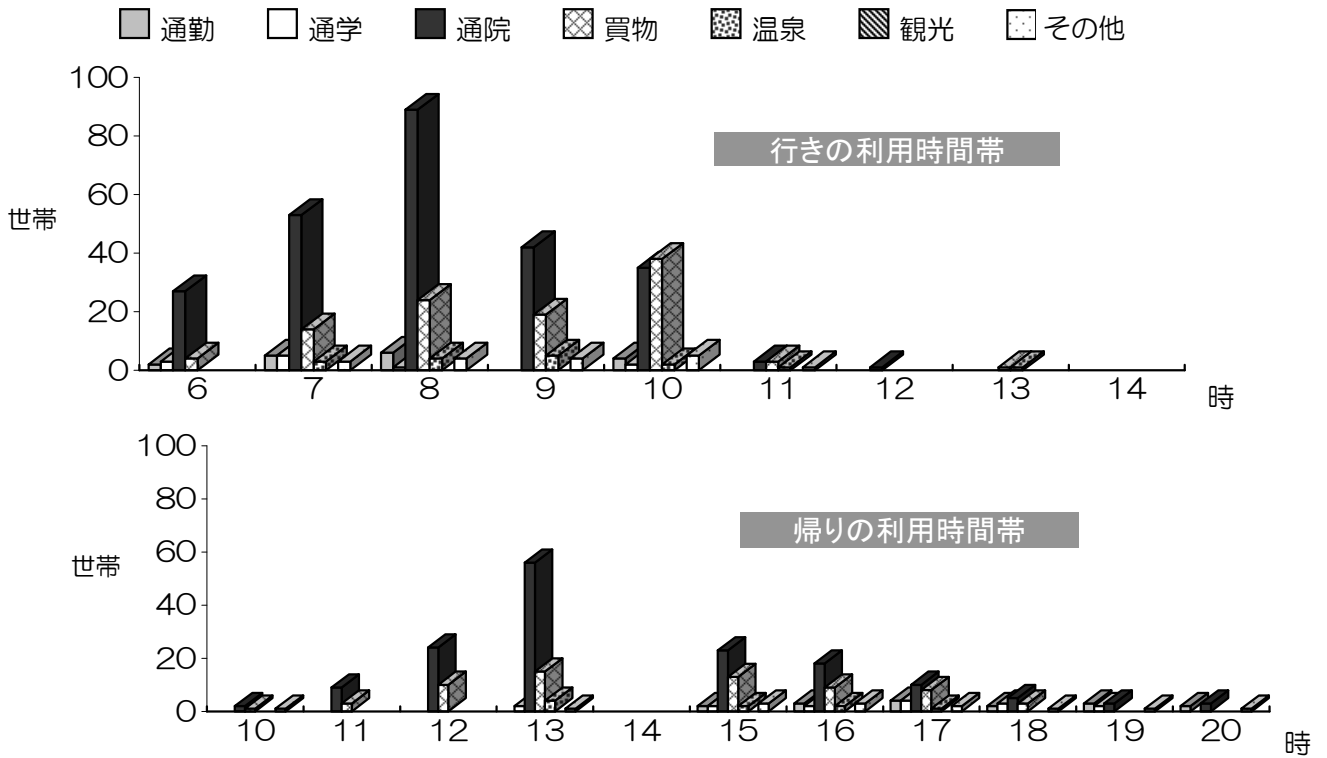
b. 買物を利用目的にしている人の目的地の詳細 (未記入は除く。)



買物は、地域外86%、地域内14%となった。  
また、最も多い買物先は新都市交通広場で50%となっている。



#### ④ 利用目的別の利用時間帯（複数回答含む）

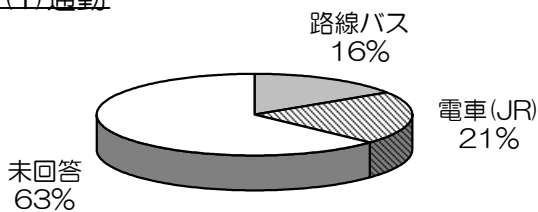


利用目的別の利用時間帯では、通勤と通学は6～7時台、通院は6～10時台、温泉が7～9時台に出掛けている。帰りの時間帯は、通学が15～19時台、通院は11～18時台、買物は11～18時台に利用されている結果となった。

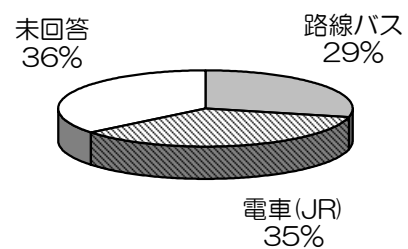
通勤と通学は、電車(JR)を利用し、通院や買物では、路線バスを利用している。

#### ⑤ 主な利用目的別の乗りつぎ交通機関

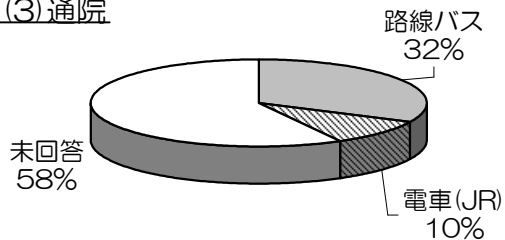
∠(1)通勤



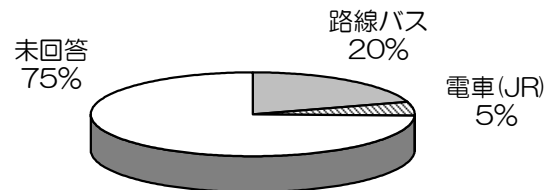
∠(2)通学



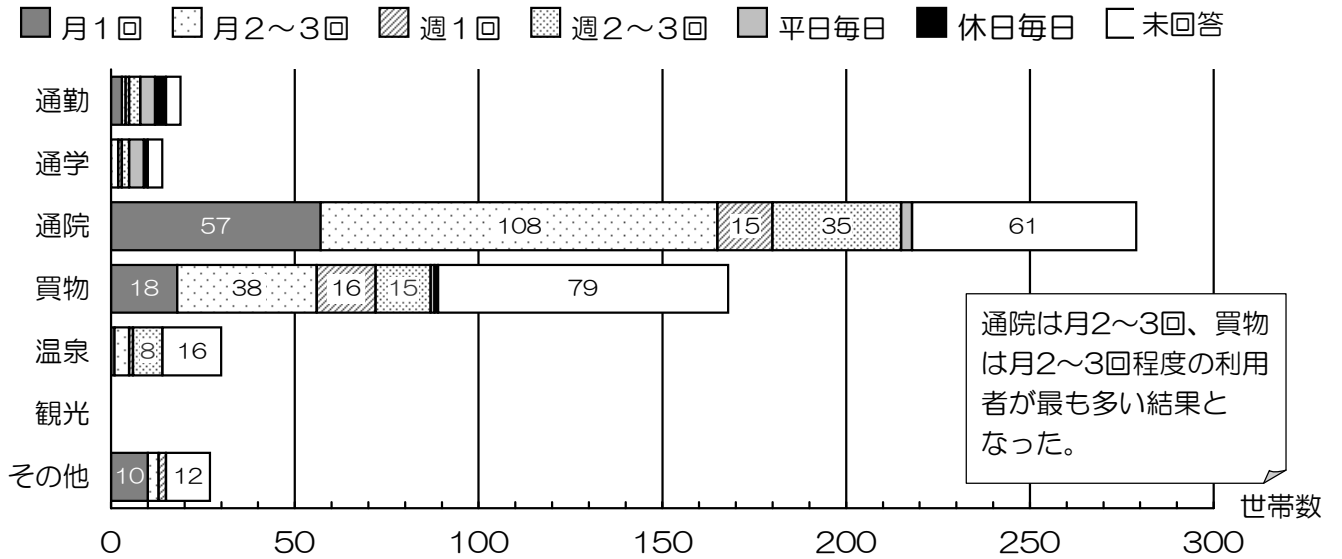
∠(3)通院



∠(4)買物

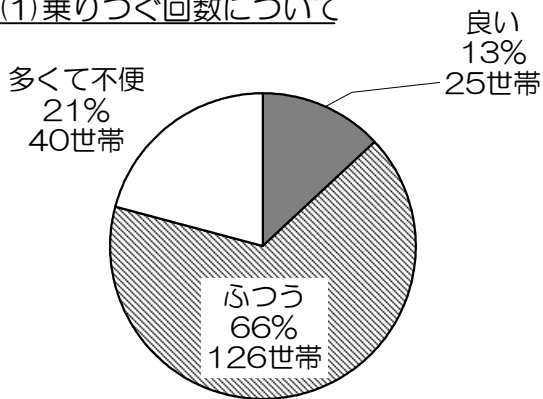


⑥ 目的別の利用頻度（複数回答含む）

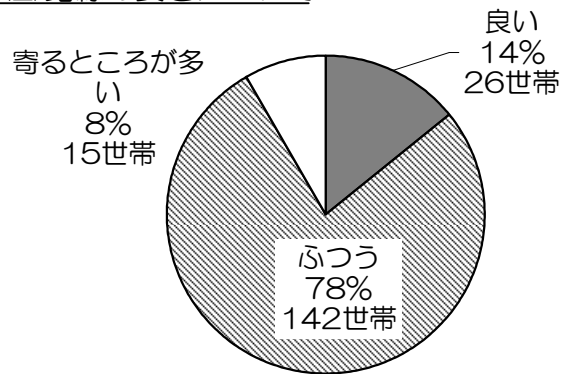


⑦ 現在利用しているマイタウン・バスについて（未回答除く）

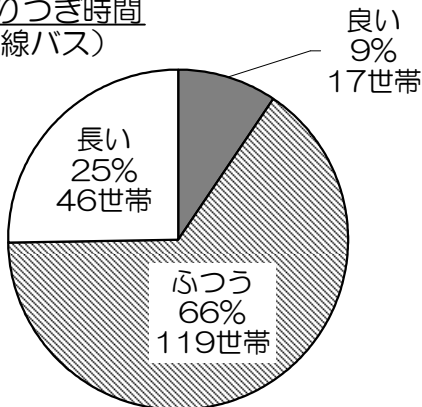
／(1) 乗りつく回数について



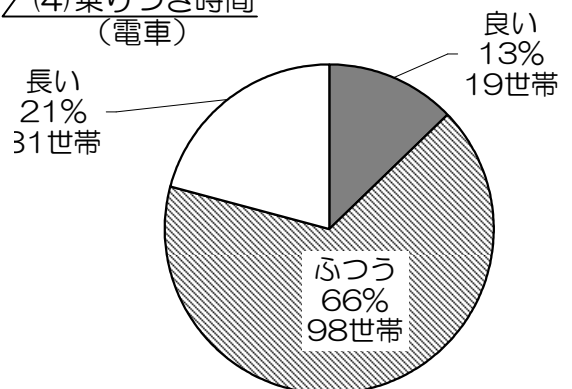
／(2) 路線の長さについて



／(3) 乗りつぎ時間  
(路線バス)



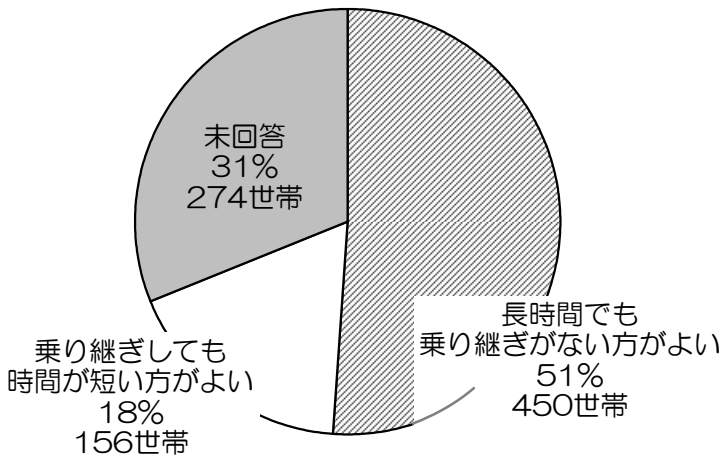
／(4) 乗りつぎ時間  
(電車)



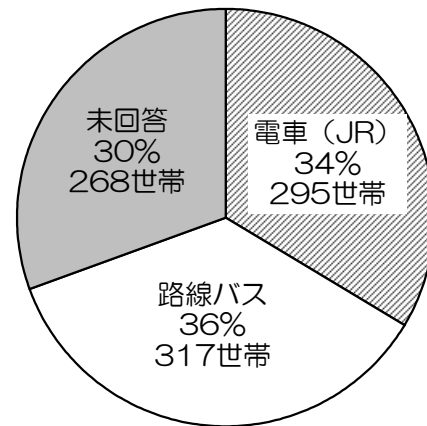
現在運行しているマイタウン・バスについては、「良い」と「ふつう」を合わせると、全ての設問でおおよそ評価を得ているという結果となった。

## ⑧ マイタウン・バスに対する要望

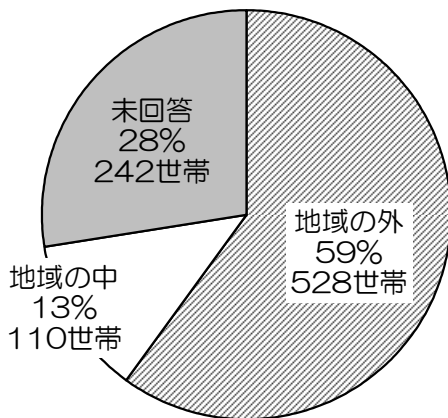
(1) 路線の長さや乗りつぎの回数のどちらが少ない方がよいですか。



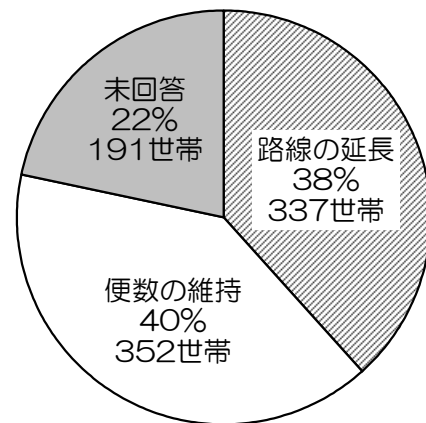
(2) 乗りつぎ交通機関として路線バスと電車のどちらを優先したら良いと思いますか。



(3) マイタウン・バスを利用する場合の主な目的地はどこですか



(4) 「路線の延長」と「便数の維持」のどちらを優先したら良いと思いますか。



マイタウン・バスに対する要望については、地域外の移動を主な目的として、路線の延長を行い乗りつぎの軽減を図り利便性の向上を望んでいるという結果となった。

## ⑨ 「マイタウン・バスを使いやすくするにはどのようにしたらいいと思いますか」

の自由記述には、104世帯の方に回答をいただき、主なご意見は次のようになりました。

- 秋田駅や秋田赤十字病院まで延伸し乗りつぎの軽減を図った方がいい。
- 昼の時間帯や土日の朝夕の便数をもっと増やしたら使いやすくなる。
- 路線バスと電車の乗りつぎの利便性を向上させた方がいい。
- Bコースは、予約式を定時定路とした方がいい。